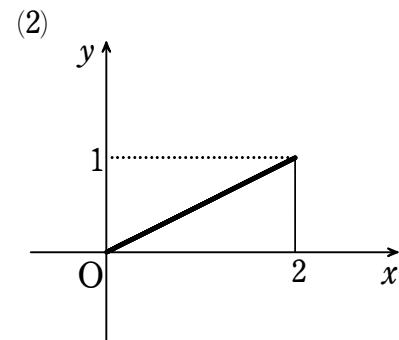
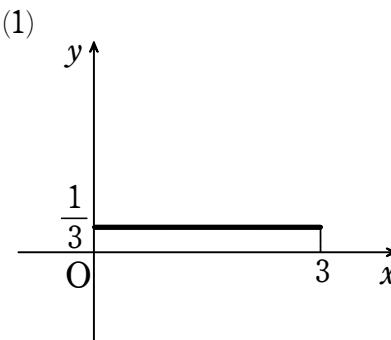


2 - 9 連続した値をとる確率変数

1 確率変数 X の確率密度関数 $f(x)$ が次の式で表されるとき、指定されたそれぞれの確率を求めよ。

$$(1) \quad f(x) = \frac{1}{3} \quad (0 \leq x \leq 3) \quad P(0 \leq X \leq 1.5), \quad P(0.5 \leq X \leq 2)$$

$$(2) \quad f(x) = \frac{1}{2}x \quad (0 \leq x \leq 2) \quad P(0.3 \leq X \leq 0.7), \quad P(0.4 \leq X \leq 1.6)$$



2 確率変数 X の確率密度関数 $f(x)$ が $f(x) = \frac{2}{3}x$ ($0 \leq x \leq \sqrt{3}$) で表されるとき、 X の期待値、分散、標準偏差を求めよ。

3 確率変数 X のとる値が $0 \leq X \leq 2$ で、その確率密度関数 $f(x)$ が $f(x) = \frac{1}{2}x$ ($0 \leq x \leq 2$) で与えられるとき、 $P(0.4 \leq X \leq 1.6)$ を求めよ。また、 X の期待値、分散、標準偏差を求めよ。

2 - 9 連続した値をとる確率変数

- 4 (1) 確率変数 X の確率密度関数が右の $f(x)$ で与えられ
ているとき, 次の確率を求めよ。

$$(ア) P(0.5 \leq X \leq 1)$$

$$(イ) P(-0.5 \leq X \leq 0.3)$$

- (2) 関数 $f(x) = a(3-x)$ ($0 \leq x \leq 1$) が確率密度関数となるように, 正の定数 a の値を定めよ。また, このとき, 確率 $P(0.3 \leq X \leq 0.7)$ を求めよ。

$$f(x) = \begin{cases} x+1 & (-1 \leq x \leq 0) \\ 1-x & (0 \leq x \leq 1) \end{cases}$$

- 5 確率変数 X が区間 $0 \leq X \leq 10$ の任意の値をとることができ, その確率密度関数 $f(x)$ が
 $f(x) = \frac{3}{500}x(10-x)$ で与えられている。このとき, 次のものを求めよ。

$$(1) \text{ 確率 } P(3 \leq X \leq 7)$$

$$(2) \text{ 期待値 } E(X)$$

$$(3) \text{ 標準偏差 } \sigma(X)$$

- 6 確率変数 X の確率密度関数 $f(x)$ が $f(x) = \frac{2}{3}x$ ($0 \leq x \leq \sqrt{3}$) であるとき, X の期待値,
分散, 標準偏差を求めよ。